

起死回生 寶丹
 五分錫入定價金六錢二厘五毛
 一匁二分入同 拾二錢五厘
 二匁三分入同 二拾五錢



服方概略記

一 平常より用やう小朝夜三度小豆の大ききつゝ服してより一か
 ちきつはりとて健とありの邪氣をとりひきやう疫のまのま
 せひし。凡時氣のあきと氣或はふくまうらうとくき或
 炎暑の途中或はえやう疫ある家よりくと欲もまハ別して急な
 く度々用てよん

一 此寶丹一切の病を奇功ある事多し

一 旅行ふねのり比ともしつハ勿論或ハ軍隊練兵等のせり必是を時時々服
 すべしと風土の異ぢる地よりくとも水あうりまハ中暑をくらん等
 のいしぢぢ

一 ちやう病及くらんらへ吐瀉一あるもの一度二三分冷水にて用ひあ
 たらふて心氣を安んぢる事一二時間むかりはるべし必全身あたら
 汗をとり小便運て治す尤もさけき病を度用て功あきハ三四度
 たびつて用也。如此をやく此薬用やう者ハ重症をむらさけり容易一命
 を救ふを得べし一切の食傷或はけりあうりもきもあうりもさけり
 大よらみたへけりもこれお前のやく用もれ吐すきハ吐して
 すまきいさだて速く治せ

一 氣附の妙薬也事此寶丹よるハヤ。たとい手足ひちあがりせりも
 目の三分冷水にて用やれ速く効を得べし

一 氣のふききめちひのたんせれりんもふんはあきくもれむねらみ
 〇まやききさみ〇あつらり〇まやききさみ〇あつらり〇まやききさみ
 〇まやききさみ〇あつらり〇まやききさみ〇あつらり〇まやききさみ

一 右の諸病は目つて二分冷水にて用やれ重症は三四度たびつて用也

一 虫ぬはるとのうけすこりさうりれ又ハよの外へぬ暫時心氣と
 をあきハ速く治す

一 口ぬらある人毎夜ねるか或ハ常よみと

一 毒山のさうらう又ハけものつみと等何もしつて又ハ水にて煉つて
 鳥けその一切の病ひし用て大効あり音せいと出すよめりき湯
 度々用也

一 按もふ此寶丹旅行遠出の節及或ハ遊宴此席よりさうりも心懐
 中ふ備て尤貴重を得べし實よまれ濟世此良劑と云ふべき也

明治七年 甲戌十月 東弘軒

